

動物用医薬品

マリンディップ®

MarineDip

フグ目魚類の外部寄生虫
(シュードカリグス・フグ)の薬浴剤

 **MSD**
Animal Health

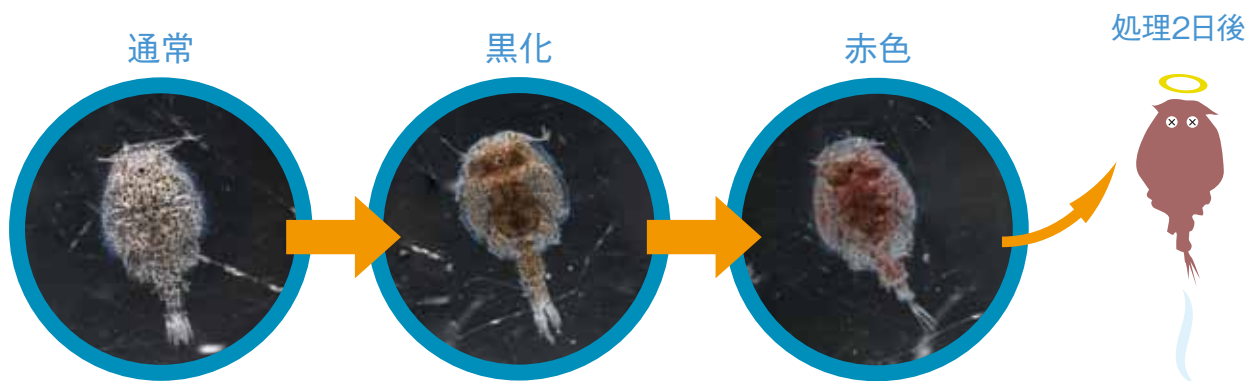
特徴

- フグ目魚類の外部寄生虫(シュドカリグス・フグ *Pseudocaligus fugu*)の薬浴剤です。(特許番号:第4154326号)
- 海水で容易に分解される、環境に優しい製剤です。
- 包装は6ℓと軽量です。
- 薬浴濃度300ppmで15分間薬浴します。
(但し、薬液1㎡当り総魚体重40kg以下)
- 使用禁止期間は1日です。



カリグスに対する効果

カリグスをマリンディップに曝露すると、まず体色が黒化し、さらに時間を経ると、赤っぽく変化します。曝露2日後には、ほとんどのカリグスが死亡します。



臨床試験








養魚場でカリグスが寄生したトラフグをマリンディップで薬浴濃度300ppmで15分間薬浴し、カリグスの駆虫率を無投薬群と比較しました。(1群500尾、平均魚体重184g、平均水温24℃)

	薬浴前	薬浴翌日	駆虫率
マリンディップ薬浴群			78.4%
無投薬群			0.8%

薬浴中および薬浴後30分程度、トラフグの緩慢遊泳、横転が見られましたが、翌日以降、異常は認められず、死亡魚も認められませんでした。

有効濃度および薬浴時間

養魚場でカリグスが寄生したトラフグ140尾(平均魚体重6g)を1群20尾に分け、下記表中の薬浴濃度、薬浴時間になるように設定し、薬浴後、新鮮海水の入った水槽に移し、魚の様子を60分間観察しました。

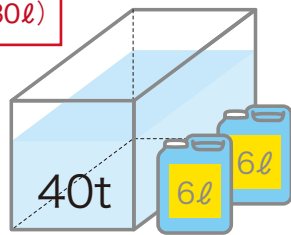
薬浴濃度 (ppm)	薬浴時間 (分)	駆虫率 (%)	トラフグの状態
0	60	0.7	良好 
150	15	27.7	良好 
	30	30.1	緩慢遊泳する個体が散見 
	60	37.1	ほとんどが緩慢遊泳 
300 [※]	15 [※]	86.6	良好 
	30	92.4	一尾膨らむ 
	60	96.8	ほとんどが緩慢遊泳 

※承認されている用法用量

使用方法

- 1 生簀内の総魚体重、薬浴シートのサイズからマリンディップの使用量を計算する。
- 2 船槽等を用いてマリンディップを一旦、海水で薄める。

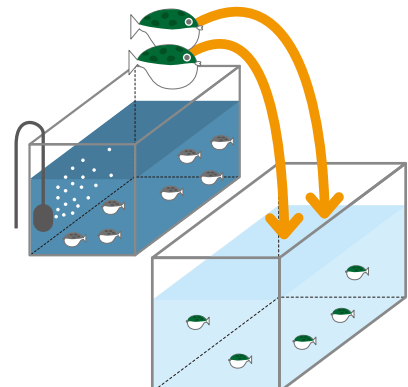
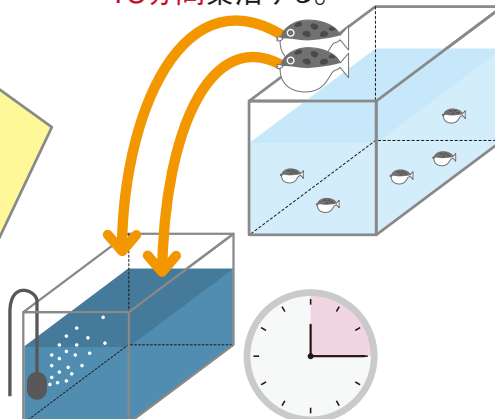
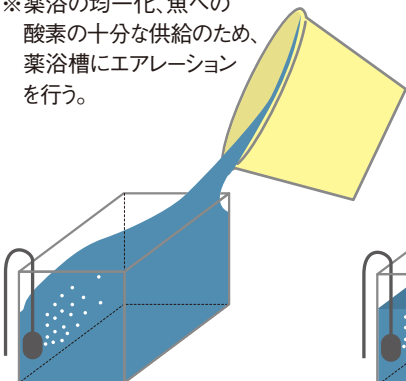
- 20tの海水に対し本品1本(6ℓ)
- 40tの海水に対し本品2本(12ℓ)
- 100tの海水に対し本品5本(30ℓ)



※薬液は分解しやすいので、速やかに調整してください。

- 3 薄めた薬液を薬浴槽に均一になるように加え、攪拌する。
- 4 混合した薬浴槽に魚体を入れ、15分間薬浴する。
- 5 薬浴後、処置魚を現場海水中に戻す。

※薬浴の均一化、魚への酸素の十分な供給のため、薬浴槽にエアレーションを行う。



Drug Information

品名	マリンディップ
成分及び分量	1mL中にピルビン酸メチル1mL
容量	6Lポリエチレン容器
用法及び用量	海水1m ³ に対し、本剤300mLの割合で添加、混合した薬液に魚体を入れ、15分間薬浴する。薬浴する魚は、薬液1m ³ 当たり魚体総重量40kg以下とする。薬液は分解し易いので、調製後速やかに使用する。
効能又は効果	フグ目魚類の外部寄生虫(シュードカリグス・フグ)の駆除
用法及び用量	<p>【一般的注意】</p> <p>(1) 本剤は、フグ目魚類のカリグス症を治療するために使用し、フグ目魚類以外の魚又は動物には使用しないこと。</p> <p>(2) 本剤は、正しく使用しなければ病気の治療効果が得られないおそれや、本剤の副作用として認められる魚体の横転状態が長引き、回復するまでに時間がかかるおそれがあるので、本使用説明書の【用法及び用量】に従って正しく使用すること。</p> <p>(3) 本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。</p> <p>(4) 本剤は指導機関(家畜保健衛生所、魚病診断総合センター、水産試験場等)に相談の上使用すること。</p> <p>本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた医薬品ですので、フグ目魚類について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守して下さい。</p> <p>フグ目魚類：食用に供するために殺する前1日間</p> <p>【使用者に対する注意】</p> <p>(1) 本剤が皮膚等に付着した場合には、刺激作用があるので、本剤の調整にはゴム手袋等を着用すること。</p> <p>(2) 本剤が眼に入らないよう防護メガネを必ず着用すること。</p> <p>(3) 万一、本剤が眼に入った場合には、直ちに水でよく洗い流し、医師の診察を受けること。</p> <p>(4) 誤って本剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。</p> <p>(5) 皮膚又は服に付着した場合は、すみやかに多量の水又は海水で洗うこと。</p> <p>【魚に対する注意】</p> <p>1. 制限事項</p> <p>(1) 本剤の使用前には魚の健康状態について検査し、異常を認めた場合は使用しないこと。</p> <p>2. 副作用</p> <p>(1) 本剤使用中に、使用後速やかに回復する一過性の魚の横転現象が観察される。魚の横転現象は使用数分後に現れるが、使用を終了して15分程で回復し、長くても30分後には元に戻る。</p> <p>3. 相互作用</p> <p>(1) 期待する治療効果が得られないことや思わぬ副作用が発生するおそれがあるので、本剤には、他の薬剤を加えて使用しないこと。</p> <p>4. 適用上の注意</p> <p>(1) 薬浴液は使用する時に希釈し調整すること。</p> <p>(2) 薬浴液はあらかじめ飼育水で希釈したものを薬浴槽へ投入すること。</p> <p>(3) 薬浴槽の薬液は均一になるようによく混ぜてから使用すること。</p> <p>(4) 薬浴した魚はすみやかに飼育水に戻すこと。</p> <p>(5) 調整した薬浴液の使用は1回に限ること。</p> <p>【取扱い上の注意】</p> <p>(1) 本剤はよく振り混ぜてから使用すること。</p> <p>(2) 使用済みの空容器等は地方公共団体の条例等に従い適切に処分し、他に流用又は転用しないこと。</p> <p>(3) 本剤を数回に分けて使用する場合には、すみやかに使用すること。</p> <p>(4) 本剤の色に異常が認められた場合には使用しないこと。</p> <p>(5) 本剤を廃棄する場合には、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体の条例等に従い適切に処分すること。</p> <p>【保管上の注意】</p> <p>(1) 本剤は、小児の手の届かないところに保管すること。</p> <p>(2) 本剤は、直射日光、高温及び多湿を避けて保管すること。</p> <p>(3) 誤用を避け、品質を保持するため、本剤を他の容器に入れかえないこと。</p>
貯蔵方法	室温保存
有効期間	4年

製造元：株式会社武蔵野化学研究所

〒104-0031 東京都中央区京橋1-1-1

製造販売元：株式会社インターベツト

ポートルー&アクアカルチャー事業部

〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12

TEL.03-6272-0770 FAX.03-6238-9080